



もんま 門馬 まりえ 議員

門馬 新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについては、議会全員協議会等の文書で説明を受けてきました。5月14日に福島県は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言対象地域から解除されました。そこで、町は町民の命や生活を守るためどのような対策を講じてきたか伺います。更に、新型コロナウイルス感染症対策の今後の見通しについて伺います。

門馬

町長 広野町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、国県との連携のもと、広報紙や町ホームページ、防災行政無線等を活用した町民等に対する感染症予防、感染拡大防止の情報提供、小中学校の臨時休業、公共施設等の臨時休業、マスク配布等の感染症対策を実施しました。町内医療機関からの復興に従事する方の隔離検診等の期間を猶予することはできないかという要望を受け、国に要請し、令和2年6月末までの間、健康診断の実施時期を延期可能とする制度改正がなされました。

町長

感染症患者が発生した際には、防災行政無線による町民に対する情報提供、町記者会見の実施、公共施設の対応と町内事業所に対する感染拡大防止対策として、安心安全ネットワーク会議の開催、町内事業所に対するチラシの送付、広野火力発電所などへ感染症対策徹底を要請しました。町独自の事業として中小企業等支援事業補助金・特別対策資金信用保証料補助金、高等教育機関の学生及び留学生の生活支援、憩の図書館・地域経済応援プロジェクトに取り組んでいます。



少なくなったマスクの備蓄を補充

町の対応は

コロナ対策

町長／町内事業所に対策要請

7人の議員が町政を問う

門馬 まりえ P9

●新型コロナウイルス感染症について

畑中 大子 P10

●乳がん、子宮がん検診が2年に1度受診になることについて  
●新型コロナウイルス感染症対策としての各家庭への配信について

北郷 伯弘 P11

●海外教育交流派遣事業の今後について  
●第二次広野町教育ビジョンについて

小磯 利雄 P12

●小中学校の学習状況について  
●新型コロナウイルス感染症対策について

阿部 憲一 P13

●新型コロナへの町の姿勢  
●環境中のα・β核種の問題  
●救済基金の創設

遠藤 浩 P14

●避難所における感染予防対策について  
●新たな教育の整備について

渡邊 正俊 P15

●教育施設における設備の改善について  
●高等学術機関の誘致について

一般質問は、公の場である議会で、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●令和元年6月定例会● 一般質問  
渡邊 正俊 議員

新しいハザードマップ作成を

県が平成31年3月20日に新たな津波浸水区域を公表しました。これを受けて新たなハザードマップを作成して防災、減災の意識の周知に努めるべきではありませんか。

早急に作成します。

津波災害と土砂災害を含めた各種災害に対応する総合的なハザードマップを令和元年度内早急に作成します。

新しい防災マップが配布されました。

令和2年3月に津波災害や土砂災害のほか、火災や原子力災害についても記載された新しい防災マップが全戸に配布されました。



新しい防災マップ